



令和 4 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 3 年度実施事業)

事業名	水産振興事業(水産物ブランド化事業)			事務事業コード	3131-1
担当	経済 部	農政 課	農業生産振興 係	事業開始年度	平成 16 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)	法定根拠			
管理方法	通常				
実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託または指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	3.力強い産業を営む活力と魅力あるまちづくり
	節	1.豊かな自然を生かした農林水産業の振興
	施策	3.水産業
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市内で生産される佐久鯉や水田鮒等について商業・観光業と連携し、多面的な振興を図る。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・佐久鯉を中心とした、養殖魚の生産力の維持と販売促進	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度	
コスト	事業費	2,613		3,742		7,449	
	人件費	0.30 人	2,100	0.65 人	4,420	0.65 人	4,420
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	2,100		4,420		4,420	
	総事業費	4,713		8,162		11,869	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	2,570		3,294		2,572	
	一般財源	2,143		4,868		9,297	
	財源合計	4,713		8,162		11,869	

令和 3 年度 実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐久鯉消費拡大のためのポスター制作</li> <li>・小鮒セミナーの開催、他のイベントについては新型コロナウイルス影響下で中止。</li> </ul>
-----------------	--

活動指標	単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
水田鮒の生産量	t	実績	4	4	
		目標	10	10	10
	%	達成率	40	40	
成果指標	単位				
佐久鯉を使った新メニューの試食者数	人	実績	0	61	
		目標	500	250	200
	%	達成率	0%	24%	

### 3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	未達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田鮒の生産拡大については、29年度より市主催の水田鮒養殖技術研修会を開催し、生産者の拡大を図ったが、単収が大幅に減少し生産量が大きく減少した。</li> <li>・新型コロナウイルス影響下で、イベントでの試食会が開催できなかった。</li> </ul>
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	鯉及び小鮒などは市内の水産業の主要な品目であることとともに、本市の代表的な食文化の一つとなっていることから、市が積極的に関与する必要がある。
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鯉食文化の衰退と水田鮒生産者の高齢化等により市内水産業の基盤が弱体化している。令和元年度に水田鮒の単収が大きく減少したが、要因として天候の影響が考えられるが、不明な点が多く水産試験場等と連携し原因を解明する必要がある。</li> <li>・水田鮒生産者の高齢化等により生産量の減少が見込まれるため、生産者の育成や水田鮒の継承が必要である。</li> </ul>	

### 4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<p>&lt;課題に対する解決策、取組み方針等を記載&gt;</p> <p>鯉食文化の衰退と水田鮒生産者の高齢化等により市内水産業の基盤が弱体化している。民間企業等の協力を得る中で、水田鮒の単収が大きく減少したが、要因の解明と水田鮒の養殖技術についてデータ化を図っていく。</p> <p>新型コロナウイルス影響下で、試食会等のイベントが制限されている状況で、今後、開催方法やPRの手法を再検討する必要がある。</p>		